

## 政策評価 (各府省)

役に立つ

各府省における政策過程の実態を踏まえ、作業の重複を排しつつ、政策改善等に役立つ評価プロセスを実現

しなやか

政策の特性や改善の目的等に応じて、前例にとらわれず、最適な評価方法を柔軟に選択

納得できる

EBPMの更なる推進、データの重視、研究者等との連携を進め、評価の質を向上

以下の項目について具体化に向けて検討

- 政策の特性等に応じた多様な評価方法のベストミックスの実現
- 政策の改善等への活用を重視した政策評価の作業プロセスの見直し
- 政策評価の重点化 (作業の合理化)
- 国民、ユーザーから見て使いやすい評価の枠組みによる評価の促進
- EBPMの更なる推進 (政策評価の質の向上)

可能な取組から順次実施

令和4年末 基本方針等の改正

令和5年度から本格実施

## 行政評価局調査 (総務省)

役に立つ

ユーザーのニーズを重視した情報収集・提供や、既存の仕組みの評価・改善に不可欠な長期的変化の分析を実施

しなやか

評価プロセス等を見直し、各府省・地域の迅速な対応に資する多様で迅速な情報提供を実施

納得できる

EBPMの更なる推進、データの重視、研究者等との連携を進め、評価の質を向上

- 審議会ヒアリング等を活用し、ユーザーのニーズを的確に把握
- 調査対象施策をめぐる長期的変化に焦点を当てた分析を実施

■ 迅速な対応・改善につながるよう

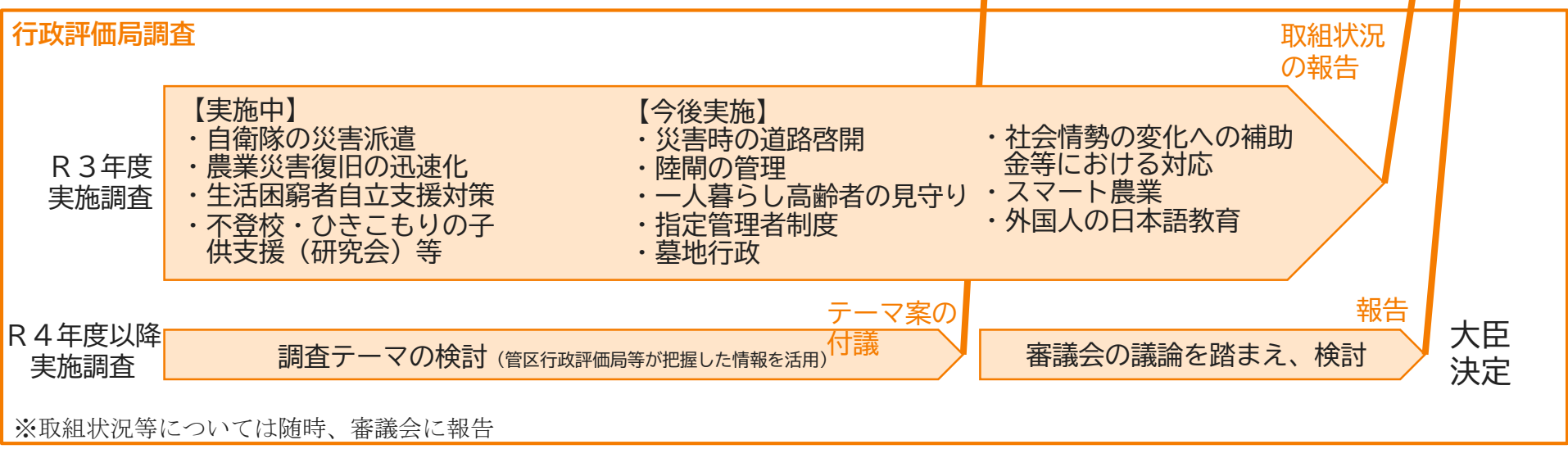
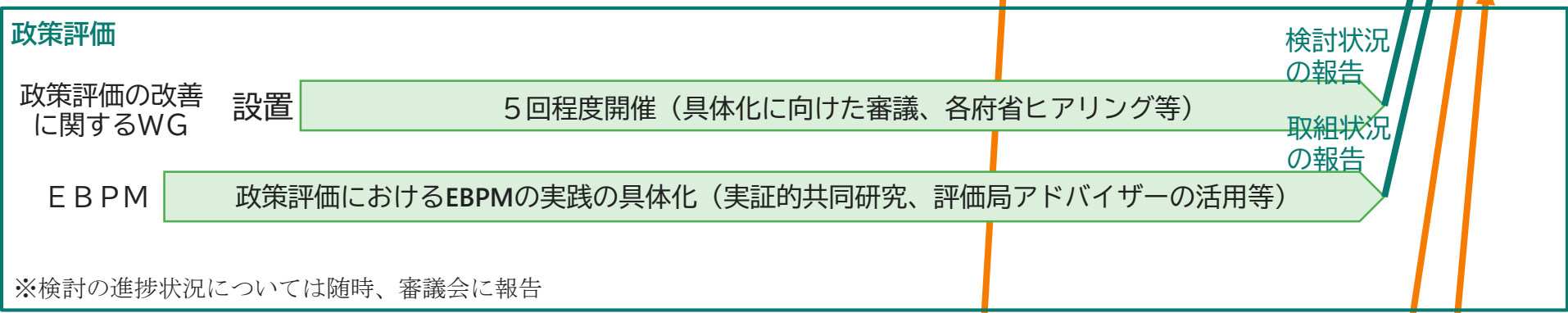
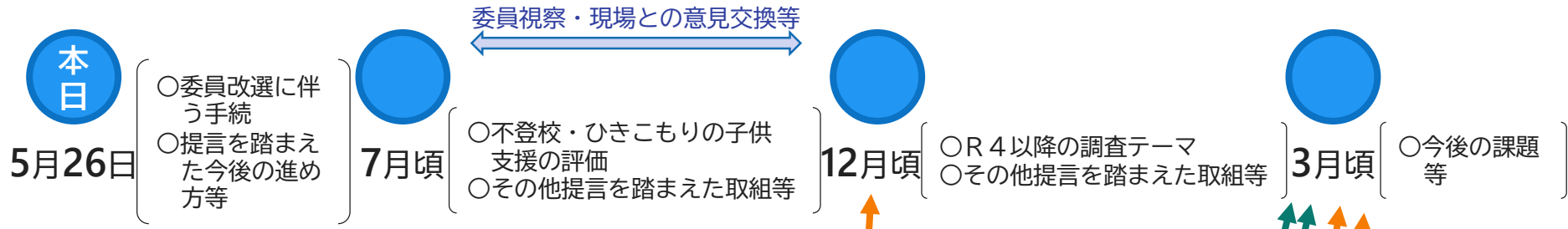
- ・ 調査期間自体を短期化
- ・ 最終的な公表に至る前段階での公表や、現地機関における公表を積極的に実施

- 調査設計や結果の分析に関して、研究者と協働し、EBPMの思考や分析手法を活用 (例: 「不登校・ひきこもりの子供支援」における研究会の開催)

令和3年度に実施中・実施予定の調査にて左記の取組を実施

取組状況を踏まえ、令和4年度以降の調査でも取組を実施

# 政策評価審議会のスケジュール（令和3年度）



※記載内容は現時点の想定であり、今後、変更があり得る。